

20/1/14 河村市長定例記者会見（名古屋城部分）

名古屋市民オンブズマンによる半自動文字起こしアプリによる文字起こし

河村：去年はフランス・ノートルダム大聖堂火災と京都アニメーションの火災と首里城の火災がありました。これについてぜひ本当はジャーナリズムの皆さんも違いをやっぱり、名古屋城いろいろいろいろ言ってますけどあって、ノートルダムの場合は燃えましたが、木造の部分は燃えませんでしたけど、実際外から見えるあれは石なんですね、あれは残っております。石の文化というのは。首里城は完全に燃えました。

名古屋城も70年前ですけど完全になくなりました。ということで木の文化というのは本当に無くなるんです、完全に。かといってなくなるのなら本当に文化は終わりなのかそこら辺の大論争があるところなんであって、西洋形では意外と本物だけを文化史跡とすることが結構多いんですけど。木の文化はちょっと違うのではないのかということですが、言いたいことは。

伊勢神宮だって20年毎に無くなるじゃないですか、生まれ変わるじゃないですか。常若といいますわね。伊勢神宮。

春日大社だって国宝ですけど、なくなるんです。造り変える、同じように。文化庁なんかの思想でもありますが、木の文化においては、なくなったらよう言うんですが、エレベーターの話なんかで。河村さんいろいろカンドでおるけど名古屋城燃えたじゃないか、これ。新築建造物という言い方をする人がいます。ジャーナリズムでもある。よう考えてもらわんといかん。伊勢神宮や春日大社はどうなるんだとなる。人間はどうなるだ。人間は死んだら終わりなのかということですよ、日本の場合は死んでもですね、いろいろ、いろいろ言いまして魂は残ると居続けるということもあるし。Art is long, life is short. となんて外国でも言いますわね。

まあ文化庁も奈良ドキュメントといいますけどそこで相当主張しまして、平成27年なんだわなあ、実はこれ基準を作ったのが。

文化庁はなくなったとしても、よう言ってますけどね。3つの要件、僕がまとめた3つですけど、

要はその現場にもう1回造る。あった場所に再建する、もう一個はいろんな資料等によって前あったものと同じと言えるものができるということ。

もう一つは、材質等もできうる限り前あったものを造るという場合はこれは歴史的建造物の復元というジャンルなんであっていわゆるオリジナルなんだとそれは、そういうこの感性を持てるかどうか名古屋城木造化についての他すごい重要。名古屋城は以上の三つの条件に完全に合致しております。あったら多分世界史上ただ一つのお城だところまで完全に現場にそこに造りそれから、資料はもう疑いがありませんからこっだけ残ってるの。材料もどうも今のところ完全に国産の木材で全部やれるだろう。

一番でっかい、もう無理でないかと言われとった梁でも月山松の 330 年の真っ直ぐの松ですけどね。こんなのないですよ本とに、ということでもありますんで。

火災とって一言でいいますけど。その内容っていうのはやっぱりひとつ人文学というか形而上というか人類の歴史の中から見ると、いろんな燃えたものの中からいろんな見方ができる。